

創立120周年記念支部共通事業 提案競技「美しくまちをつくる、むらをつくる」

創立120周年記念事業の一環として、文化的資産の宝庫である各自治体を対象に提案競技「美しくまちをつくる、むらをつくる」を本会会員のデザインコンペティションとともに、地域の小中学生を対象とする「美しいまちなみ絵画コンクール」と一般の部を対象とする「写真コンクール」を各支部主催で実施いたします。

美しい環境・景観は与えられるものではありません。市民・住民の不断の努力によってつくり上げられたものです。「美しくまちをつくる、むらをつくる」というテーマは、市民の側に主体的に美しいまち・むらをつくらうという意識をもってもらいたいという意味を込めています。市民にそのような意識をもってもらうためには、デザインによってまちやむらはどのように美しくつくられるかが示されなければなりません。これを示し得るのは、建築・都市デザイナー、建築家、建築士などデザインの専門家、およびそれを目指す学生諸君です。さらにこのような意識を子供の時から育てるために、子供たちにもこのイベントに参加してもらい、美しいまちづくりを考える楽しさを味わってほしいと考えます。

本提案競技は、以上の主旨のように、デザインの持つ力、重要性を社会に対して示す場を設けようとするもので、建築・都市デザイナー、建築家、建築士、学生を対象にした美しいまちづくり・むらづくりのデザインコンペティションおよび、一般を対象とした写真コンクール、小中学生を対象にした美しいまちなみ絵画コンクールを内容としました。ふるって参加をお願いいたします。

・応募登録申込書は文末にあります。

関東支部

主催 日本建築学会関東支部

共催 足立区

後援 足立区教育委員会、足立区まちづくり推進委員会、(財)足立区まちづくり公社、東京都、東京都地下鉄建設(株)、足立写真連盟、足立朝日、足立よみうり新聞、(株)ケーブルテレビ足立、東京都建築士事務所協会足立支部

1|支部会員の部—応募規程

課題 美しくまちをつくる、むらをつくる

魅力的なまちづくり、むらづくりの計画案を提出してください。必ずしも提案の実現性にはこだわりませんが、今後の足立区のまちづくりにも参考になるような説得力のある提案を望みます。

東京都足立区の概要

足立区は、東京23区の北東端に位置しています。東は中川をはさんで葛飾区、南は隅田川をはさんで北区、荒川区、墨田区、西は埼玉県川口市、鳩ヶ谷市、北は草加市、八潮市、に接しています。区総面積は53.20km²、23区の約9%に当たり世田谷、大田区について3番目の広さです。

足立区は、一般に西新井大師が良く知られています。平安時代、空海により創建されて以来、大師は庶民の参詣で賑っていますが、かつては学問の場としても名を馳せていました。江戸時代、足立一帯は田畑が広がる、近郊の豊かな穀倉地帯でした。そこに千住が日光街道の宿場として定められ栄えたことから、市街地としての発展が始まります。明治になると、東京が拡大するにつれて田園風景の中に住宅や工場が建ち並んでゆき、大正の関東大震災では被害が比較的少なく済んだため、足立区へ移り住む人が増えました。また、昭和の始めには、江東、墨田など東京の下町を水害から守る目的で、明治末に着工した荒川(放水路)が完成しています。

戦後になり、高度成長期において足立区も急速に都市化が進み、土地区画整理事業が盛んに行われました。急増する東京の人口を支えるため、都営住宅や公団、公社の集合住宅が大量に建設されています。昭和40年代には区内の大規模工場等が区外へ移転し、40年代の終りに区を東西に横断する環状7号線が開通して、50年代頃に現在の足立区の基本的な形がほぼ出来あがりました。区の人口は、ここ数年64万人程度で推移し23区中5番目となっています。

近年では平成12年に、放送大学が千住に移転、平成16年には「北千住駅西口再開発」が完了し、以前にも増して賑いを見せています。さらに平成18年10月には「東京藝術大学千住キャンパス」が開校予定、また平成17年には区の東部に「つくばエクスプレス」が開通し、西部では「日暮里・舎人線」が平成19年度に開通予定で、足立区は新たな転換期を迎えています。

・足立区のHP <http://www.city.adachi.tokyo.jp/index.html>

テーマ 住んでみたい 行ってみたい まちづくり

足立区は都心に近く、河川や緑地などの自然が豊かで、人のあたたかみが残っています。しかし、一般的に明確な地域イメージが不足しており、情報発信の少なさと相俟って、魅力ある環境として受け留められていない傾向にあります。多くの人々がそこに住んでみたいと感じるような、そしてそこへ行ってみたいと思うような、景観的にも美しいまちづくりを提案してください。

対象地は、日暮里・舎人線沿線の[舎人周辺地域][舎人公園・北足立市場][江北北部緑道公園][新大師道沿道][扇周辺地域]とします。対象地の一部または全部に対する提案、いずれかのひとつの地域に対する個別の提案や、いくつかの地域にまたがる提案でも構いません。計画範囲は自由に設定してください。

日暮里・舎人線は、荒川区日暮里と足立区舎人の間約10kmを結ぶ新交通システムで、車両は10mの高架上を走り、区内9箇所に新駅が設けられます。新交通という新たな軸線の形成により、沿線地域の土地利用は活発化していくと考えられます。今後のまちづくりでは地域ごとの特色ある方向づけが不可欠です。歴史を偲ばせる「舎人」、緑の広がる「舎人公園」と青果や花卉で溢れる「北足立市場」、桜の連なる「江北北部緑道公園」、名利へ誘う「新大師道」、まだ農地が残る「扇」地域など、対象地はそれぞれ異なる要素や可能性を備えているものの、それらが十分に活かされていないのが現状です。

都心からのアクセスが改善されるのを機に、沿線地域イメージを向上させ、多元的な地域の価値を醸成してゆく必要が生じており、こうした状況を踏まえたまちづくりの提案を求めます。

要求図面等

- 1—A1判用紙(594×841mm)1枚以内に提案をまとめてください。
- 2—表現方法は自由としますが、パネル、ボードは使用しないでください。
- 3—必須の項目や図面は特にありません。資料等から判断し、各応募者が課題を設定し提案してください。なお、質疑応答は特に行いません。

応募資格・応募点数

1—応募の代表者は、本会関東支部所属の個人会員もしくは準会員(作品提出時までの入会手続き者を含む)であることとします(共同制作者は会員外でも可)。

2—個人での応募または同一メンバーで構成されるグループで応募する場合は、1点のみとします。

応募登録 p.121 応募登録申込書に、必要事項(氏名、会員番号、所属、連絡先住所、電話番号)を記入のうえ8月22日(火)までに日本建築学会関東支部事務局へ郵送してください(消印有効)。なお、登録料(郵便為替)と資料送付用封筒(A4判封筒に登録者の宛先を記入し、390円分の切手を貼ったもの)を同封してください。登録者には、足立区に関する資料を送付します。登録料は応募1点につき2,000円です。郵便為替を郵便局で購入し、受取人に日本建築学会関東支部と記入して同封してください。

作品提出 郵送または宅配便により、日本建築学会関東支部宛に、9月29日(金)までに送付してください。応募登録申込書に必要事項を記入し、封筒に密封して作品の裏にはがせるように貼り付けてください。作品中には、作成者が推測できるマーク等を表示しないでください。

全体スケジュール

- 応募登録受付:7月7日(金)~8月22日(火)
 - 現地説明会:7月22日(土) 10:30-
- 足立区庁舎ホール(足立区中央本町1-17-1)に集合してください。足立区職員の方が現地を案内して説明します(アクセス:東武伊勢崎線梅島駅下車徒歩10分)

問合せ先:足立区都市計画課(TEL03-3880-5738)

なお、現地説明会後関東支部都市計画専門研究委員会主催の、「第10回リレー見学会・シンポジウム—日暮里・舎人線沿線の景観まちづくりを考える—」を開催します。

- 応募作品受付 9月11日(月)~9月29日(金)
- 入賞者発表 10月末
- 表彰式 会場:足立区庁舎ホール 11月25日(土)
(あだちまちづくりフォーラムと同時開催)
- 入賞作品展示会 11月20日(月)~11月25日(土)

審査委員会

- 委員長 倉田直道(工学院大学教授)
委員 根上彰生(日本大学教授)
宮崎十三(東京都建築士事務所協会足立支部長)
片桐正夫(日本建築学会関東支部長、日本大学教授)
佃 朝明(足立区都市整備部長)

賞

- 最優秀賞 1点(賞状、副賞30万円)
- 優秀賞 3点(賞状、副賞5万円)
- 足立区長賞 3点(賞状、記念品)

著作権 応募作品に関する著作権は各応募者に帰属しますが、主催者・共催者は本提案競技の趣旨に照らして、応募作品の公表等をする権利を使用することができるものとします。

作品の返却 返却を希望する方は、支部事務局までお越しく下さい。なお表彰式より3カ月を経過したものは処分いたします。

応募登録・作品提出・問い合わせ

日本建築学会関東支部
〒108-8414 東京都港区芝5-26-20/TEL 03-3456-2051/FAX 03-3456-2058

2|一般/小中学生の部—応募規程

①は一般の部、②は小中学生の部

①「足立の魅力と美しさ」写真コンクール

足立区の歴史、文化、行事、自然など、暮らしのなかで目に触れた美しい風景や、街並み・景観などの写真を撮影してください。また、合せてその写真に対するコメントや、将来はこのようなまちや風景にしたいなど、あなたの思いを寄せてください。コメントの字数に制限はありません。

提出作品 四ツ切1枚。デジタルカメラでの撮影も可とします。ただし、

インクジェットプリント出力は不可。

応募資格 特になし

応募登録 登録の必要はありません

作品提出 足立区都市計画課まで持参(9月11日(月)~29日(金)の平日9:00-17:00まで)、または郵送・宅配便(9月29日(金)消印有効)により送付してください。作品の裏に住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を記入してください。

②「私たちが暮らす足立—こんなまちに住みたいな」絵画コンクール

将来あなたが住んでみたい、理想の足立区を自由に描いてください。

提出作品 四ツ切画用紙1枚

応募資格 足立区内在住・通学の小・中学生

応募登録 登録の必要はありません。

作品提出 区内の学校に通う児童・生徒は学校を通して足立区都市計画課に提出してください。その他の児童・生徒は足立区都市計画課まで持参(9月11日(月)~29日(金)の平日9:00-17:00まで)、または郵送・宅配便(9月29日(金)消印有効)により送付してください。作品の裏に学校名・学年・クラス・氏名(ふりがな)を記入してください。

全体スケジュール

- 応募作品受付 9月11日(月)~29日(金)
- 入賞者の発表 10月末
- 表彰式 足立区庁舎ホール 11月25日(土)
- 入賞作品展示 11月20日(月)~11月25日(土)

審査委員会 地元美術関係者、教育関係者、足立区まちづくり推進委員会など。

賞

- ①一般の部
 - 優秀賞 1点(賞状、1万円の図書券)
 - 足立区長賞 2点(賞状、5千円の図書券)
 - 入選 5点(賞状、3千円の図書券)
- ②小中学生の部
 - 優秀賞 2点(賞状、5千円の図書券)
 - 足立区長賞 2点(賞状、3千円の図書券)
 - 足立区教育委員会賞 3点(賞状、2千円の図書券)
 - 入選 20点(賞状、1千円の図書券)

著作権 応募作品に関する著作権は各応募者に帰属しますが、主催者・共催者は、応募作品の公表等をする権利を使用することができるものとします。

作品の返却

- ①返却を希望する方は、足立区都市計画課までお越しく下さい。なお、表彰式から3カ月を経過したものは処分いたします。
- ②作品展示会終了後に学校を通して返却します。

問い合わせ

足立区都市計画課
〒120-8510 足立区中央本町1-17-1(TEL03-3880-5738)

----- 切り取り線 -----

関東支部提案競技「美しくまちをつくる、むらをつくる」応募登録申込書

代表者	フリガナ	種別	会員	自宅	〒
	氏名	会員番号	No		☎
共同制作者	所属(勤務先・部課・学校・学部学科)			勤務先	〒
	メールアドレス				☎
共同制作者	フリガナ	所属(勤務先・部課・学校・学部学科)		自宅	〒
	氏名	メールアドレス			☎

•代表者は本会個人会員であること。共同制作者が複数の場合は別紙に記入してください。